

明治大学国際交流基金事業外国人学識者招聘プログラム

招請報告書

情報コミュニケーション学部教授 施利平

プログラム名:アポイントメントプログラム

招請外国人学識者: 鄭楊

所属機関: 哈爾濱師範大学副院長/準教授

招請期間: 2019年6月13日~2019年6月21日

中国哈爾濱師範師範大学の鄭楊氏は、日本で博士号を取り、現在中国で活躍している家族研究者の一人である。これまで近代家族論者の第一人者である落合恵美子先生の代表作『21世紀の家族へ 家族の戦後体制の見方・超えかた』を中国語で翻訳し、日本学者の研究成果を中国に紹介するとともに、中国における「育児」や「専業主婦」などを中心に、日本の研究者たちと共同研究を行ってきた。

推薦者の施が責任者の一人として準備を進めている共同研究プロジェクトに、鄭氏は、2019年度比較家族史学会シンポジウム「世代間関係」に発表者として研究発表をし、その成果を2020年に出版予定の『家族研究の最前線⑤ 世代間関係』（日本経済評論社）に収録されることになっている。

それと同時に、現在明治大学では中国をはじめ、アジア諸国から多くの留学生が学んでいるため、中国の家族研究の最前線の研究を紹介していただき、日本人学生と留学生たちに研究の面白さや、中国社会の変化や有り様を伝え、学生たちに知的な刺激を提供できればと考え、今回の招聘プログラムに鄭楊氏を推薦した。

鄭楊氏の来日後の活動は以下の通りである。

6月13日 来日。到着後滞在中の仕事について打ち合わせを行った

6月14日 明治大学大学院の授業（政治経済研究科鐘家新教授と情報コミュニケーション研究科施利平と共同で）で講義（「中国都市家族における母親規範」）を行った

6月15日~16日 比較家族史学会「世代間関係」シンポジウムに参加し、「中国都市部の子育て支援と世代間関係」について研究報告

6月17日~6月18日 研究調査

6月19日 明治大学図書館で資料収集、今後の仕事の打ち合わせ

6月20日 研究調査

6月21日 帰国

鄭楊氏の招へいを実現させていただいた本学国際交流基金事業、と国際連携本部スタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。